

一	シンシン パブアニューギニアのフェスティバル	辻丸純一、第二書館	A4判 90頁	一九三	一、七五〇	二五	宮内庁書陵部陵墓地形図集成	大型本53×98mm	393頁	一九九	六万六千	
二	古墳のはじまりを考える	金岡恕他	四六判 210頁	二〇五	一、六五〇	二六	大和弥生文化の特質	川部浩司、学生社	B5判 408頁	二〇〇	六、〇〇〇	
三	出雲の考古学と『出雲国風土記』	古代出雲王国の里	四六判 200頁	二〇六	一、六五〇	二七	シンポジウム邪馬台国が見えた	奥野正他、学生社	四六判 210頁	二〇〇	一、六〇〇	
四	シンポジウム三角縁神獸鏡	福永伸哉他、学生社	A5判 262頁	二〇三	一、六〇〇	二八	飛鳥と龜形石	門脇禎二、学生社	四六判 210頁	二〇〇	一、六〇〇	
五	「大王」の誕生	中田興吉、学生社	A5判 262頁	二〇三	一、六〇〇	二九	列島考古学の再構築	板橋旺爾、学生社	四六判 220頁	二〇〇	一、六〇〇	
六	弥生時代はどう変わるか	広瀬和雄、学生社	四六判 196頁	二〇八	一、六〇〇	三〇	旧石器から弥生までの実像	近江昌司、学生社	四六判 246頁	二〇〇	一、六〇〇	
七	宮都飛鳥	奈良県立橿原考古学研究所 所附属博物館	A5判 212頁	二〇七	一、六〇〇	三一	埴輪づくりの実験考古学	実業委員会、学生社	四六判 258頁	二〇六	一、六〇〇	
八	倭人伝の国々	小田富士雄他、学生社	A5判 284頁	二〇二	一、六〇〇	三二	日本文化のかたち百科	小町谷朝生他編	丸善出版	二〇六	二万一千	
九	古代王権の原像	山尾幸久、学生社	四六判 196頁	二〇八	一、六〇〇	三三	高家今川氏の研究	研究学芸、名著出版	A5判 330頁	二〇〇	一、〇〇〇	
一〇	東アジア史上の古墳時代	大飯館彌生、学生社	A5判 278頁	二〇三	一、六〇〇	三四	江戸周辺を事例として	江戶周辺研究会、名著出版	A5判 330頁	二〇〇	一、〇〇〇	
一一	弥生時代の集落	博物館編	A5判 278頁	二〇三	一、六〇〇	三五	東京上水・用水と江戸・武蔵野	管理体制作と流域社会	A5判 604頁	二〇六	一、〇〇〇	
一二	シンポジウム古代の難波と難波宮	直木孝次郎他編	A5判 350頁	二〇二	一、六〇〇	三六	内藤新福と江戸	首都江戸と周辺の結節点の視点から	A5判 604頁	二〇六	一、〇〇〇	
一三	古代近畿と物流の考古学	石野博信編	A5判 352頁	二〇三	一、六〇〇	三七	世界女性人名大辞典	東宮忍子、云々、大学近世史研究会、名著出版	ジュニア・アグレロウ	330頁	二〇五	二万二千
一四	前方後円墳・墳丘構造の研究	櫃本誠一、学生社	A5判 532頁	二〇二	一、六〇〇	三八	世界の記憶遺産30	古田陽久、古田真美、冬舎	B6変判 246頁	二〇五	一、〇〇〇	
一五	旧石器時代の日本列島史	安藤政雄、学生社	A5判 464頁	二〇一	一、七五〇	三九	日本と朝鮮 比較・交流史入門	原尻英樹他、明石書店	四六判 354頁	二〇一	一、〇〇〇	
一六	古墳時代の王権と地域社会	伊藤雅文、学生社	A5判 355頁	二〇〇	一、六〇〇	四〇	元語り合う！とっぴんの知恵	高田公理、創元社	四六判 262頁	二〇〇	一、〇〇〇	
一七	解明！由来がわかる姓氏苗字事典	家系・家紋	A5判 466頁	二〇八	一、七五〇	四一	森琴石と歩く大阪	熊田司、伊藤純	東方出版	A5判 262頁	二〇〇	一、〇〇〇
一八	探訪！研究がわかる歴史家系系	丸山浩一、金園社	A5判 502頁	二〇五	一、七五〇	四二	山本晋助の実像を探る	海老沼真治編、戎光祥出版	A5判 316頁	二〇三	一、〇〇〇	
一九	佐久間象山伝	丸山浩一、金園社	A5判 502頁	二〇五	一、七五〇	四三	古代王権の空間支配	広瀬和雄、小路田泰直、青木書店	A5判 302頁	二〇〇	一、〇〇〇	
二〇	明治という時代 歴史・人・思潮	小林敏男、雄山閣	A5判 214頁	二〇三	一、六五〇	四四	歴史学「外」論	下田淳、青木書店	A5判 173頁	二〇五	一、〇〇〇	
二一	歴史研究と「郷土愛」	大泉光一、雄山閣	A5判 370頁	二〇四	一、六〇〇	四五	いかに考え、どう書くか	塚田孝、青木書店	四六判 228頁	一九九	一、〇〇〇	
二二	伊達政宗と慶長遣欧使節	王小慶、雄山閣	A5判 174頁	二〇五	一、六〇〇	四六	近世の都市社会史 大坂を中心に	木村茂光、青木書店	四六判 254頁	一九九	一、〇〇〇	
二三	近世河内地域の関中地区をめぐって	吉田俊純、名著出版	A5判 190頁	二〇七	一、七五〇	四七	「国風文化」の時代	平川南、鈴木靖民、青木書店	四六判 310頁	一九九	一、〇〇〇	
二四	近世河内地域の関中地区をめぐって	吉田俊純、名著出版	A5判 190頁	二〇七	一、七五〇	四八	古代国家の通信システム	荒木敏夫、青木書店	四六判 304頁	一九九	一、〇〇〇	
二五	常陸国高田神社を舞台に	吉田俊純、名著出版	A5判 190頁	二〇七	一、七五〇	四九	可能性としての「国家	柳沢遊、青木書店	四六判 376頁	一九九	一、〇〇〇	
二六	徳川光圀の悩み苦しむ	吉田俊純、名著出版	A5判 190頁	二〇七	一、七五〇	五〇	日本人の植民地経験	柳沢遊、青木書店	四六判 376頁	一九九	一、〇〇〇	
二七	意志を貫いた人	吉田俊純、名著出版	A5判 190頁	二〇七	一、七五〇	五〇	大連日本人商工業者の歴史	柳沢遊、青木書店	四六判 376頁	一九九	一、〇〇〇	
二八	写真集 昭和天皇巡幸	前坂俊之編、河出書房新社	B5変判 126頁	二〇三	一、六〇〇							

四	考古学からみた倭国	白石太一郎、青木書店	558頁	2009	4,650	三	中国古代社会史論	侯外廬、名著刊行会	476頁	1,976
三	東京低地と古代大島郡	葛飾区郷土と天文の博物館、A5判396頁	396頁	2011	4,000	四	東アジア近代史の方法	田中正俊、名著刊行会	300頁	1,998
五	古墳時代の政治構造	広瀬和雄他、青木書店	336頁	2004	2,750	五	筒形銅器と政権交替	田中晋作、名著刊行会	224頁	2,000
三	前方後円墳からのアプローチ	近藤義郎、青木書店	286頁	2005	2,750	七	書評で読む近世史	深谷克己、名著刊行会	350頁	2,000
三	前方後円墳の起源を考える	近藤義郎、青木書店	286頁	2005	2,750	七	こまやかな文明・日本	千田稔、NTT出版	282頁	1,300
三	古代日本の構造と原理	館野和己、小路田泰直、青木書店	350頁	2008	2,750	六	近世紀州文化史雑考	寺西貞弘、雄山閣	282頁	2,000
五	性と権力関係の歴史	歴史学研究会、青木書店	388頁	2004	2,750	六	木と水のいきものがたり	狩野敏次、雄山閣	208頁	2,000
五	シリエス港町の世界史全二巻	港町と海城世界、港町のトホクラ、青木書店	464判100頁	2005	6,600	六	語り継がれる生命の神秘	原田伴彦、明石書店	464判466頁	2,000
五	幻影のローマ	歴史学研究会、青木書店	430頁	2006	3,000	六	江戸時代の歴史	現代朝鮮の興亡、ロシアから見た朝鮮半島現代史、トルクソフ他、下斗米伸夫監訳、明石書店	464判466頁	2,000
五	伝統の継承とイメージの変容	歴史学研究会、青木書店	430頁	2006	3,000	六	ナチス時代の国内亡命者とアルカディア	リン・パン編、明石書店	464判466頁	2,000
五	雑穀Ⅱ 粉食文化論の可能性	木村茂光編、青木書店	232頁	2006	2,000	三	世界華人エンサイクロペディア	リッパン編、明石書店	726頁	2,000
五	銭貨 前近代日本の貨幣と国家	池享編、青木書店	314頁	2001	3,800	三	イギリス都市の祝祭の人類学	アフロ・カリブ系の、平賀源内先生顕彰会	338頁	1,998
五	戦争全二冊(中世戦争論の現在、近代戦争の兵器と思想)	池享編、青木書店	474頁	2004	3,800	三	歴史・社会・文化 木村葉季子	平賀源内先生顕彰会	338頁	1,998
六	近世日本の戦争遺跡	菊池実、青木書店	328頁	2005	3,000	三	平賀源内全集 全二巻	梅園会、名著刊行会	228頁	1,998
六	戦跡考古学の調査と研究	河合敦、池田書店	335頁	2003	1,000	三	梅園全集 全二巻	梅園会、名著刊行会	228頁	1,998
六	最新トピックで歴史を見直す日本史	岡田清一編、名著出版	456頁	2003	6,600	七	江戸書籍商史	上里春生、名著刊行会	224頁	1,998
三	河越氏の研究	岡田清一編、名著出版	456頁	2003	6,600	七	江戶聚近世風俗志	喜田川季荘、名著刊行会	177頁	1,998
三	都市江戸への歴史視座	大江戸八百八町展、武家、名著出版	212頁	2004	2,000	八	評伝田中正造	大澤明男、幹書房	679頁	3,000
三	拝領地・江戸首都論	大石学編、名著出版	212頁	2004	2,000	八	秩父の民俗 山里の祭りと暮らし	栃原嗣雄、幹書房	509頁	3,000
三	吉原の四季	瀧川政次郎、青蛙房	338頁	2004	2,750	九	朝鮮を知る事典(新訂増補)	伊藤亜人他、平凡社	613頁	3,000
三	清元「北州千歳寿」考証(新装版)	牧野由朗、名著出版	336頁	2004	2,750	九	夢と栄華の世界をひらいた男	高野澄、淡交社	464判239頁	2,000
三	志摩漁村の構造	牧野由朗、名著出版	336頁	2004	2,750	九	龍馬の時代 京を駆けつけた志士群像	木村幸比古、淡交社	464判270頁	2,000
三	郡上宝曆騒動の研究	高橋教雄、名著出版	412頁	2005	3,800	九	昭和天皇最後の決断	木村勝美、メディアック	464判319頁	2,000
三	戦国大名武田氏領の支配構造	柴辻俊六、名著出版	376頁	2005	4,500	九	宮本常一日記 青春篇(附録C D付)	田中晋作、名著刊行会	464判319頁	2,000
六	西海と南島の生活・文化	新川登亀男編、名著出版	520頁	2005	3,000	九	日本のインターネット	岩下哲典、右文書院	464判198頁	2,000
六	藩国と藩輔の構図	高野信治、名著出版	606頁	2005	6,600	九	江戸から近・現代へ	岩下哲典、右文書院	464判198頁	2,000
七	地域社会の展開と幕藩制支配	森安彦編、名著出版	514頁	2005	5,000					
七	日本帝国主義の形成と東アジア	井口和起、名著刊行会	312頁	2000	3,800					
三	戦中戦後(増訂版)	田中正俊、名著刊行会	402頁	2001	2,000					

三〇	東アジアのボーダーを考える 歴史・国境・認識	岩下哲典他、右文書院	三〇四	三	加賀百万石をつつた名君前田利長	池田公二、新人物往來社	四六判287頁	三〇二	一、六〇〇
二九	山川健次郎と乃木希典	笠井尚、長崎出版	三〇六	三	日本民具の造形	川村善之、淡交社	三〇四	三〇	一、五〇〇
二八	復刻・戦ふ朝鮮	宮田浩人、新幹社	三〇七	三	ものご心を通わせた歩み	斎藤忠、新人物往來社	三〇六	三〇	一、五〇〇
二七	大人怪物の神話 西欧、インド、中国文化圏におけるトックマン伝承 デイヴィッド・ゴードン・ホワイテ、石井良助、明石書店	柴田宵曲、青蛙房	三〇七	三	日本考古学人物事典	斎藤忠、新人物往來社	三〇六	三〇	一、五〇〇
二六	幕末の武家 体験談聞書集成(新装版)	A B判376頁	三〇七	三	魏志倭人伝の考古学	西谷正、学生社	三〇六	三〇	一、五〇〇
二五	飲声のなかの警鐘 東アジアの歴史認識と歴史教育の省察 柳輔泰、池明観、明石書店	四六判287頁	三〇九	三	邪馬台国への道	三木弘、新人物往來社	三〇六	三〇	一、五〇〇
二四	韓国文化史(新版)	明石書店	三〇九	三	古墳社会と地域経営	菊地明編、新人物往來社	三〇六	三〇	一、五〇〇
二三	東アジア新時代の日本と台湾	西川潤他編、明石書店	三〇九	三	京都守護職日誌 全五巻	大石学編、東京堂出版	三〇六	三〇	一、五〇〇
二二	グアテマラ内戦後 人間の安全保障の挑戦	関雄二他編、明石書店	三〇九	三	時代考証の窓から 篤姫とその世界	大泉光一、雄山閣	三〇六	三〇	一、五〇〇
二一	戦争と植民地支配を記憶する 秘録・ビルマ独立と日本人参謀 溝口郁夫編、国書刊行会	明石書店	三〇九	三	捏造された慶長遣欧使節記 間違いたらげの支倉常長論考	鈴木保寿、雄山閣	三〇六	三〇	一、五〇〇
二〇	野田毅ビルマ陣中日記	明石書店	三〇九	三	縄文時代集落の研究	片岡宏二、雄山閣	三〇六	三〇	一、五〇〇
一九	南アジア(講座世界の先住民族03)	金基淑編、明石書店	三〇九	三	弥生時代渡来人から倭人社会へ	アドルフ・ローゼンベルク、学生社	三〇六	三〇	一、五〇〇
一八	失われる文化・失われるアイデンティティ(講座世界)の先住民族10) 綾部恒雄編、明石書店	明石書店	三〇九	三	図説服装の歴史 上下	国書刊行会、A4変判244頁	三〇六	三〇	一、五〇〇
一七	検証・日本の舞台	戸川点他編、東京堂出版	三〇九	三	国指定史跡事典	学生社編集部、学生社	三〇六	三〇	一、五〇〇
一六	現代中国風刺詩事情	邱奎福、小学館	三〇九	三	古墳文化と壁画(斎藤忠著作選3)	斎藤忠、雄山閣	三〇六	三〇	一、五〇〇
一五	戯れ謡で読むほんとうの中国 キューバの歴史 先史時代から現代まで(世界教科書28) キューバ教育省、明石書店	A5判287頁	三〇九	三	近世の山林と水運 日向諸藩の事例研究	松下志朗、明石書店	三〇六	三〇	一、五〇〇
一四	一の谷合戦でしかけた義経の陥穽	A5判287頁	三〇九	三	朝鮮とベトナム日本とアジア(ひと・もの・情報の接点・交流と対外観) 片倉穉、福村出版	福村出版、雄山閣	三〇六	三〇	一、五〇〇
一三	梅村伸雄、新人物往來社	四六判271頁	三〇九	三	魂と肉性と生死観 家康が最も恐れた男 直江兼統と関ヶ原の義将たち	狩野敏次、雄山閣	三〇六	三〇	一、五〇〇
一二	大台ヶ原山知られざる謎	大物往來社	三〇九	三	龍馬を愛した女たち	加来耕三、雄山閣	三〇六	三〇	一、五〇〇
一一	新修 五街道細見	岸井良衛、青蛙房	三〇九	三	徳川幕府の礎を築いた夫婦 お江と秀忠	坂本優二、グラフ社	三〇六	三〇	一、五〇〇
一〇	旧石器時代 上下(講座日本の考古学)	B5変判355頁	三〇九	三	古代の鏡と東アジア 卑弥呼の鏡は海を越えたか	山本博文、グラフ社	三〇六	三〇	一、五〇〇
〇九	帝国への新たな視座	歴史学研究会、青木書店	三〇九	三	国際協同研究 韓国併合と現代 歴史と国際法からの再検討	池上曾根史跡公園協会、学生社	三〇六	三〇	一、五〇〇
〇八	歴史のかたち	読売新聞大阪本社、淡交社	三〇九	三	朝鮮半島のことばと社会 朝鮮半島を越えた朝鮮通信使	刊行委員会、明石書店	三〇六	三〇	一、五〇〇
〇七	龍馬 最後の真実	菊地明、筑摩書房	三〇九	三	室町時代の朝鮮通信使	嶋村初吉、明石書店	三〇六	三〇	一、五〇〇
〇六		四六判238頁	三〇九	三	支配の古代史	広瀬和雄他編、学生社	三〇六	三〇	一、五〇〇